

行財政改革、各種事業など

当面する町政の現況を報告

9月定例町議会（町長事務報告）

9月1日から13日まで9月定例町議会が開催されました。提出議案は、平成18年度各会計の補正予算案について9件、条例の一部改正について2件、条例の廃止について2件、財産の取得について1件、ほか計17議案で、すべて原案のとおり可決しました。

財政 一層の歳出削減と財政の健全化に努力

平成17年度決算については、病院会計を除いて各会計とも黒字の決算となっております。

また、7月7日に「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」が閣議決定されましたが、国においては今後5年間で11兆円から14兆円規模の歳出改革が示されており、地方財政としても厳しい対応が求められるものと予想されます。本町においては、一層の歳出削減に努め、財政の健全化に努力していきます。

行財政改革 人件費の削減、経費の節減、合理化など積極的に推進

平成17年度の行財政改革は人件費の削減を目的とした職員の削減、収入役の廃止、特別職の給与の削減、管理職手当の削減を実施しました。

また、民間委託等の推進や経費の節減合理化を目的とした医療事務の外部委託化、土地開発公社の廃止、消防団機構改革なども実施しました。

これからの、積極的に取り組んでいきます。

画策 住民参加のまちづくり推進

住民参加のまちづくり推進への取り組みとして「住民と

行政の協働によるまちづくり推進懇話会」を一般公募の委員で発足しました。まちに対する期待など活発な意見が交わされ、懇話会の活動計画や会議の基本ルールなどが議論されたところです。

今後は、地方自治の本旨である「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という理念のもと、住民のまちづくりへの参加・参画・協働を促進していくための制度設計を検討していきます。

福祉 健康フェア・元気まつりにより住民が多数来場

高齢者福祉関係では、認知症にやさしい地域づくりネットワーク形成事業の重点項目



指定管理者による維持管理運営となった福祉会館

として、各機関との協力体制の強化、要援護高齢者等の早期発見、支援のための体制構築に取り組みしていきます。

また、町福祉会館は、9月1日から平成22年3月31日まで、町社会福祉協議会が指定管理者となります。

児童保育事業については、試行的に夏休み期間において、開始時間を通常より1時間早い8時から実施しました。

元気まつりについては「NHK健康フェア・元気まつり2006 in 大網白里」と銘打って開催しました。

観光 海浜公園としての海岸整備を順次進行

夏期観光については、7月14日から38日間、2カ所に海水浴場を開設するとともに、夏期観光安全対策本部を設置し、万全を期してきました。

また、昨年に引き続き、海岸駐車場の整備工事を実施し、来遊客の利便性の向上に努めてきました。今後は、海浜公園としての整備を順次進めていきたいと考えています。

地曳きまつりについては、7月29日に開催され、より一層磨きかけ、老若男女をひきつける素晴らしいイベントであったと感じています。

共道 贈収贈送事件に伴い契約解除合意書を締結

汚水処理施設等維持管理業務については、贈収贈送事件に伴い、受託会社から契約辞退願いが提出されていましたが、業務の特殊性から即時対応す

ることが困難であり、処置について検討を重ねてきました。このたび、新規業者へ移行するための事務手続き等について、日程が想定できたことから、最終履行期限を平成19年1月14日とする契約解除合意書を締結しました。

なお、新規業者が決まり次第、業務を遂行するために必要となる準備期間を経まして引き継がれます。



▲「友好の翼」で文化交流を深める生徒たち

進習 中学生「友好の翼」の一歩 シンガポールに派遣

国際交流海外派遣事業である「友好の翼」については、町内の中学生18人を含む一行をシンガポールに派遣しました。大変有意義な研修であったと考えており、本町の国際交流や今後の国際化への対応に積極的に活躍されますことを期待しています。

校育 夏休み期間中を利用して学校施設整備を実施

夏休み水泳教室については、854名の参加者がありました。また、埼玉県での小学生のプール事故の教訓を受け、入念に点検した上で実施しました。

外国人青年招致事業については、3名の外国語指導助手全員が契約期間満了となり、新たに3名と契約をしました。今後も国際感覚や英語によるコミュニケーション能力の醸成・向上を図っていきます。

学校施設整備関係について

学校施設整備関係については、夏休み期間中を利用して、各種の補修・改修工事等を実施しています。主な工事として、大網中学校では渡り廊下設置工事、剣道場床改修工事、グラウンド門扉設置工事、

スポーツ 国体のバレーボール競技会場で調整

増穂中学校では便所衛生設備改修工事、白里小学校では下水道接続工事等を実施しており、順調に進捗しております。

大網白里アリーナについては、8月6日に落成記念式典を行い、同月8日から供用開始し、予定どおり利用されています。また、平成22年に開催される第65回国民体育大会において、バレーボール競技会場として活用したい旨の依頼があり、現在、県と調整を行っているところです。

8月20日を中心に、山武郡市民体育大会が開催され、本町は3年連続の総合優勝を達成することができました。

栄養士だより 55

～健康スリム教室参加者募集～

楽しく体を動かし、健康づくりをしませんか？

▶対象=いずれかに該当する方

①年齢：40～65歳

②BMI：25以上の方

＜BMI計算式＞体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

③腹囲：男性 85cm以上の方 女性 90cm以上の方

④健康的に減量したい方

▶実施内容=食事相談、運動指導（ストレッチ・ボール体操など）の全4回

▶日時・会場

①11月1日(水)13時30分～15時・保健センター

②11月10日(金)13時30分～15時・保健センター

③12月7日(木)13時30分～15時・大網白里アリーナ

④12月22日(金)9時30分～11時30分・大網白里アリーナ

▶参加費=無料

▶募集人数=先着25人

▶申込締切=10月31日(火)

申・ 町健康福祉課健康指導係 ☎(72)8321



保健師だより

気を付けよう！結核

結核といえば、昔の病気というイメージが強いかもしれませんが、確かに予防接種の普及や治療薬の充実で、結核は激減しました。

しかし、最近になって再び猛威を振るい始めています。なぜなのでしょう？

1. 若いころに感染した人が高齢になって発病

結核菌に感染しても約8割の人は、すぐには発病しません。

しかし高齢になり、免疫力が低下したときや糖尿病等の慢性疾患を持っていると発病しやすくなります。

2. 感染者の増加

若い世代は結核に対する免疫が弱く、感染者がそばにいると容易に感染してしまう傾向があります。

3. 結核への関心の薄れ

結核は昔の病気と考える人が多く、患

者も医師も油断しがちになり、受診や診断の遅れが増えています。

＜結核予防のポイント＞

①長引くせきは要注意。風邪の症状が長引く場合も早めに受診をしましょう。

②栄養バランスのとれた食生活をしましょう。

③疲労やストレスをためないようにしましょう。

④年に1回は健診を受けましょう。

町の胸部X線検査で「結核治癒」と判定された方がいます。自分では結核にかかった覚えがなく、驚かれる方もいますが、知らないうちに感染し治っていることもあります。

体力や免疫力が低下したときに再び発病することもありますので、油断しないようにしましょう。

町健康福祉課健康指導係 ☎(72)8321